

ちびっこ チャンピオン

「4月からは1年生!
わるいおにをやっつけろ!!」

きらら保育園のなかよしたち

(左から)

かわうち	ま	な	なさん (6さい)
さいとう	の	ど	かさん (6さい)
くまがい	う	た	のさん (6さい)
やまね	り	お	なさん (5さい)
こせり	ん	え	まくん (6さい)
はらた	は	る	とくん (6さい)
かわぞえ	い	ぶ	ぎくん (6さい)
	ふ	う	かさん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■樺■

深浦町の鳥



■カモメ■

発行／青森県深浦町 編集／総合戦略課企画調整係
0173-74-2111 (代表)



このコーナーでは誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



成田 彩叶ちゃん
(広) R5/2/2生
「元気いっぱい大きくなっね♡」

草創教育長の

「今月の一枚」

人口減少対策?

失礼ながら、町議会でいただく質問には、私の度量もせまいので、真意をつかみきれないものがたまにあります。「人口減少対策として、学校で道徳的な教育が必要ではないか」という質問も実に難問でした。

社会がかかえる病理の対策を、まともや学校に丸投げするのですか。と心のどこかで思いつつも、一般質問なので誠実に答弁を事前準備したつもりです。

また、再質問も受けたので、「道徳」では思いやりや家族愛・郷土愛・生命の尊さを、家庭科では衣食住等の望ましい家庭生活のあり方を、生活科・社会科や総合では地域の人々が支え合う尊さを、理科や保健体育・性教育の分野では生命誕生の科学的メカニズムやそれに伴う責任感を学びます。乳幼児と触れ合う場面もあります。つまり、パートナーを見つけ巣をつくるために必要な資質を育てる学習内容は、「道徳」以外にもたくさんあるので、そこを大事にするしか学校にできることはありません。という趣旨の答弁を返したように記憶しています。

町の新生児が年間で二十人にも届かない危機的状況ですから、学校も頑張れ、とおっしゃる気持ちもわかります。

でも、自治体レベル、民間レ

ベルのちやっちいお膳立てで結婚カップルが誕生する時代は、とつづく昔に終わっています。

今や、結婚より個人の願望が優先します。新しく家庭を築くには、世の中はまだまだ経済的に不安定です。高い離婚率も気がかりです。同性婚や事実婚等、多様な結婚形態もありの社会です。

解剖学者の養老孟司氏も、若い世代が「子どもがかわいい」「子どもが欲しい」と思う感覚や本能を抑えている社会のあり様が問題だ、と意見しています。

人口減少を学校教育のせいにするのも外れ、もちろん結婚しない個人を責めてもいけない。それこそ、社会全体が共有し熟慮すべき問題なのです。

絵は、たまに依頼される結婚披露宴ウエルカムボードです。十組ほど手がけましたが、その中からまだ離婚組が出ていないのが自慢! 霊験あらたか? 退職後の商売にしたらもうかいと...

(教育長 草創 文人)

